



ぐんやぐんや凧を作るう!

簡単に作れて弱い風でもよく揚がる凧を作ります。

- とき** 12月7日(土)～22日(日)
午前10時～午後5時
- ところ** 1階エントランスホール
- 持ち物** タコ糸
- 参加費** 無料 ※申し込み不要



合格のお守り 配布します



機関車は急な坂道に登るときに線路に砂をまき、車輪がすべって空回りするのを防ぎます。試験合格のお守りとして、機関車の「すべらない砂」を無料で配布します。

※先着 500人・1人1つ

とき 12月21日(土)～25日(火)



竹島水族館 Aquarium

☎ 68-2059

館長の
インタビュー



小林 龍二

まずもって注いだのがお金であり、この話はナマナマシイので来ていただければいくらでもゲンジツを直接お話ししましょう。そして次は時間です。この水槽は構想に10年以上もかかっていて、最初にこんな水槽があったらいいな、とスケッチブックに妄想画を描いたのはずいぶん昔です。そういった意味では思い描いていた夢が叶った水槽でもありません。そして、より水中世界に皆さんを引き込むために注力したのが展示のテクニックで、私の水族館勤めで培った技術を集大成のように注ぎ込みま

グランドオープンの大きな目玉として新しくできた「深海大水塊水槽」は120トンの水量、幅7メートル、奥行きも7メートルある、国内トップクラスの深海水槽となりました。「すげえ…」と言っただけで(魅て)くださる多くのお客様の反応に私は「よしよし」と成功をヒシヒシと確認するわけですが、今回の水槽にはいろいろなものを注ぎました。



公開前のまだ30点のころの水槽。
ここから100点にするのが腕の見せ所です!

した。1つ前の時代では、水槽に水を入れて不思議な生き物を入れておけばみんな見てくれましたが、今はそういった特異的生物もお馴染みとなりカップパでも展示しなければ無理なので、必要なのはどうしたら見られる水槽を作れるかという技術になります。そのため錯覚や照明効果、水槽形状等かなりこだわり時間を費やしました。照明では、角度や色、ライトの数などこだわって設置から完成まで5時間半を費やし徹底的に水中感を演出しました。神秘的で実際に深海にいるような感覚になります。ぜひ見に来てください。